

Title	産官学連携によるAIを活用したキャリア教育プラットフォームの提案：キャリア形成支援の可能性
Sub Title	
Author	早水, 佑輔 八木, 真理奈() 貝瀬, 理紗()
Publisher	慶應義塾大学AI・ 高度プログラミングコンソーシアム
Publication year	2024
Jtitle	AICカンファレンス予稿集 (2024.) ,p.17- 17
JaLC DOI	
Abstract	本研究は，教育機関のキャリア形成支援の体制不備による学生と企業のミスマッチ，及びその社会的影響を調査したものである．これらの問題は学生の早期離職や最悪の場合，自殺にも繋がっている．これらの課題を解決するために，産官学連携によるAI技術を活用したキャリア教育プラットフォーム構築の提案を行い，学生の就職満足度の向上と中小企業の人材不足問題の緩和を目指す．本取り組みにより，若者の就職に関する社会的負担を軽減することで生活満足度と安定性を向上させることが期待される．
Notes	会議名：AICカンファレンス2024 開催地：慶應義塾大学協生館AICラウンジ、および多目的教室 日時：2024年3月7日 ポスター発表要旨
Genre	Conference Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO11003001-20240307-0017

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

産官学連携によるAIを活用したキャリア教育プラットフォームの提案 —キャリア形成支援の可能性—

早水佑輔, 八木真理奈, 貝瀬理紗
慶應義塾大学大学院経営管理研究科

Abstract: 本研究は、教育機関のキャリア形成支援の体制不備による学生と企業とのミスマッチ、及びその社会的影響を調査したものである。これらの問題は学生の早期離職や最悪の場合、自殺にも繋がっている。これらの課題を解決するために、産官学連携によるAI技術を活用したキャリア教育プラットフォーム構築の提案を行い、学生の就職満足度の向上と中小企業の人材不足問題の緩和を目指す。本取り組みにより、若者の就職に関する社会的負担を軽減することで生活満足度と安定性を向上させることが期待される。

Keywords: career education, career development support, AI, ICT

1. 研究背景・目的

近年、技術の発展とともにDXやAI活用的重要性が増している。しかし、経済産業省の調査によると、2030年にはIoT及びAIを活用したITサービスの市場に従事する先端IT人材が54.5万人不足する[1]という試算結果が出ており、深刻な人手不足が予測される。また、就職後3年以内の離職率は新規大学卒就職者32.3%[2]と高く、社会的な課題となっている。これらの課題は、就職活動における情報の非対称性や、学生の就職準備不足、企業と教育機関間のコミュニケーションギャップといった要因が考えられ、学生の就職満足度の向上と人材不足問題の緩和が急務である。本研究は、現代の就職活動における学生、企業、教育機関間の課題と相互作用を明らかにし、これらの問題が若者のキャリア形成と日本企業の国際競争力に与える影響を探究することを目的とする。

2. 方法

研究方法としては、各種ステークホルダーへのインタビューを中心とした定性的アプローチを中心に、公開データの調査、分析を通じて、学生、企業、教育機関の現状認識と課題を整理した。インタビューは、横浜市政局大学調整課、港北区区政推進課、慶應義塾大学理工学部学生課、公益財団法人横浜企業経営支援財団経営支援部に対して、2024年2月15日～19日の期間で実施した。

3. 結果・考察

インタビュー及び公開データの分析により、企業は人材採用において期待するスキルセットを持った候補者を見つけることに苦労していること、多くの学生が就職活動において不安を感じていること、そして教育機関では政府の要求に応える形でのキャリア教育が十分に提供されていないことが明らかになった。これらの問題は、問題の根底にある情報の非対称性と、教育機関と企業間の溝が学生に不必要な負担をかけ、彼らのキャリア形成を妨げていると考えられる。特に中小企業における人材不足問題は、企業規模が小さいことに起因する職場環境の問題と、学生の認知の低さにより悪化していることが推測される。

4. 提言内容

これらの状況から、産官学連携に基づくプラットフォーム構築の提案を行う。このプラットフォームは、中小企業、学生、教育機関間の情報の非対称性を解消し、学生により実践的なキャリア教育と就職準備の機会の提供を実現するものである。

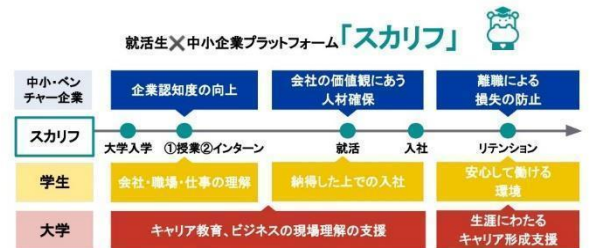


Fig. 1 Overview

具体的には、中小企業や自治体と協力してキャリア科目及びインターンシッププログラムの導入を行うことで、社会人としての役割や企業に対する理解を深め、情報の非対称性を緩和し、早期離職や社会的な不安を取り除くことを目指す。また、得られた学びを内省し記入するリフレクションシートの自然言語解析や、入社後の定着に関する因果モデルの構築等を実施し、学生の行動変容や満足度を分析することで、より効果的な授業プログラムの構築が期待できる。

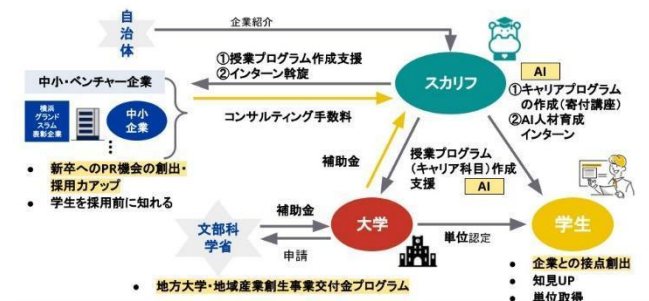


Fig. 2 Platform Architecture

5. 今後の展望

本研究で提案されたプラットフォームと支援策が実施されることにより、就職活動における情報の非対称性を減少させ、学生、企業、教育機関の三者が共に成長できる環境の構築を目指す。一方、若者の就職準備とキャリア形成を支援し、社会的安定と就労に関する満足度向上の貢献するためには、ステークホルダーへのさらなる調査が必要である。この点については今後の課題として研究を継続したい。

参考文献

- [1] みずほ情報総研株式会社. — IT 人材需給に関する調査 — 調査報告書. 2019
- [2] 厚生労働省. 新規大学卒就職者の離職状況（令和2年3月卒業者）. 2023